

平成23年1月14日

高松市長 大西 秀人 殿

高松市香南地区地域審議会
会長 赤松 千壽



建設計画の重点取組み事項に係る事業等の取組状況
に関する意見の取りまとめについて（回答）

初春の候 貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

日ごろは、本地域審議会の運営等につきまして、格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成22年11月12日付け高地政第190号により依頼のありました、建設計画の重点取組み事項に係る事業等の取組状況に関する意見の取りまとめについて、下記のとおり意見集約を図りましたので回答いたします。

記

1 提出書類

建設計画の重点取組み事項に係る事業等の取組状況に関する意見について

建設計画の重点取組み事項に係る事業等の
取組状況に関する意見について

地区名：香南地区

番号	項目	意見の内容
1	建設計画の着実な推進	<p>高松市においては、平成18年度から22年度までの5年間の建設計画の取組状況を振り返り、どのように評価しているかお伺いします。</p> <p>なお、県道・市道等整備の中には、一部未着手の路線もありますが、建設計画に掲載している全ての事業が平成27年度までの期間内に完了するよう重ねて要望します。</p>
2	合併特例債の発行	<p>第5次高松市総合計画、第1期高松市まちづくり戦略計画の中では、財政基盤の強化として、平成19年4月現在の市債残高1,528億円を平成27年度までに1,000億円以下にするという目標値が示されていますが、現時点での達成見通しをお伺いします。</p> <p>また、目標の達成が先行し、建設計画の実現に向けて有効な財源である合併特例債の発行に影響がでることのないよう、改めて要望します。</p>
3	防犯灯の整備促進	<p>香南地区においては、毎年、防犯灯の新設枠は概ね7～8灯となっていますが、新たな設置要望が非常に多く、設置までには相当期間待たされている状況です。</p> <p>住民生活が、さらに安全・安心なものになるよう、防犯灯設置の予算を大幅に増額されるよう要望します。</p>
4	学校教育環境の整備	<p>新聞報道等によると、坂出市、善通寺市、三豊市および宇多津町では、子どもの学習環境の充実を図るため、市内の全小中学校にエアコンの設置を決定したようです。</p> <p>また、高松市においても、全市立幼稚園にエアコンの設置を決定したようです。</p> <p>このエアコンの設置は、時宜を得た非常に有効な事業だと思いますので、高松市内の全小中学校に拡大されるよう要望します。</p>

建設計画の重点取組み事項に係る事業等の
取組状況に関する意見について

地区名：香南地区

番号	項目	意見の内容
5	南部地域の核となる特色あるスポーツ施設の整備	当該スポーツ施設が、南部地域の核にふさわしいものとして整備され、小さな子どもからお年寄りまで、広く多くの市民に利用され、愛される施設になるよう要望します。
6	電子市役所の構築	電子市役所の構築により、具体的に住民にはどのようなメリットがあるのかお伺いします。 また、高齢者はパソコンとかインターネット等はほとんどの方が苦手ですので、全ての住民にやさしい事務事業の推進を要望します。
7	地域高規格道路（高松空港連絡道路）（仮称）の整備	地域高規格道路（高松空港連絡道路）（仮称）の岡本町以南、高松空港までの事業の早期着工については、平成22年12月市議会定例会の一般質問において、市長から「事業の継続性を確保し、早期整備を実現するためにも、凍結を解除されるよう、知事に働き掛けてまいりたいと存じます。」との前向きな御答弁をいただき非常に心強く思っています。 今後とも、「知事とのトップ会談」等、様々な機会を通じて、高松市として香川県に対し強い働きかけをされるよう要望します。
8	県道三木綾川線バイパスルート（仮称）の整備	県道三木綾川線バイパスルート（仮称）の整備については、香川県の方針として、「現道の機能強化を基本とし、バイパスルートの整備については、人口減少に伴う将来交通量の推計や、現道の機能強化による効果の検証を行う必要があることから、現時点では、検討を進めることは難しい」とのことですが、これらの検証結果が出される予定時期をお伺いします。 なお、当該要望の実現に向け、これまで高松市には大変な御尽力をいただいておりますが、建設計画の中では「県道三木綾川線バイパスルート（仮称）構想の推進を強く働きかけていきます。」と掲載されていますので、香川県も非常に厳しい財政状況とは思いますが、高松市として香川県に対し引き続き強い働きかけをされるよう要望します。

建設計画の重点取組み事項に係る事業等の
取組状況に関する意見について

地区名：香南地区

番号	項目	意見の内容
9	県道の整備	<p>高松市においては、生活基幹道路の整備として、市道下川原北線を西に470m延伸することになり、現在、所要の実施設設計が行われています。</p> <p>これにより、香川町側また香南町側から新しい橋（香東川橋梁）を通り、双方へ抜けるルートができることになり、地域住民の毎日の生活が大変便利になるとともに、地域が大きく活性化するものと期待しています。</p> <p>さて、この橋の効果をさらに生かすため、香東川橋梁から県道円座香南線までの区間を、東西にほぼ直線で走る新しい県道ができれば、非常に分かりやすく走りやすい道路になり、また、交通安全面でも有効な道路になって、広く多くの県民がこの橋を利用することになるとともに、結果的に県道三木綾川線バイパスルート（仮称）を補完する道路にもなると思われま</p> <p>す。</p> <p>これらの事情を総合的に勘案され、当該県道整備の事業化に取り組まれるよう、高松市として香川県に対し強い働きかけをされるよう要望します。</p>
10	パーク&ライド用駐車場・駐輪場の整備	<p>琴電琴平線の新駅「空港通り駅」における、パーク&ライド用駐車場等の整備実績が報告されていますが、聞くところでは利用状況は好調のようです。</p> <p>さて、香南町民は、歴史的・地理的に、「円座駅」や「岡本駅」を利用している人が多いところですが、香南地区の建設計画の中でも、「パーク&ライドの導入について、国・県・関係機関に強く働きかけるなど、その実現に向け検討を進めます。」とあります。</p> <p>つきましては、香南町民をはじめ郊外の高松市民にとって、通勤・買物等の利便性がさらに向上し、公共交通機関の利用促進や環境対策等にも資する事業として、「円座駅」あるいは「岡本駅」でパーク&ライド用の駐車場を整備されるよう要望します。</p>
11	合併協定項目の変更の取扱	<p>「高松市・香南町合併協議会」が確認した、合併に係る基本的事項や実施する事務事業等の協定項目について、変更等を行う場合には、事前に協議の場を設けられるよう要望します。</p>

建設計画の重点取組み事項に係る事業等の
取組状況に関する意見について

地区名：香南地区

番号	項目	意見の内容
12	支所体制の充実	<p>合併以降、毎年のように支所の職員数が減少しています。 支所は、住民の毎日の生活を支える拠点施設であり、職員数が減少すれば、住民サービスの低下や災害時においては住民の大きな不安要素にもなるなど、香南地区全体の活気にも影響があると思われます。 今年度は、関係課長補佐級を中心としたワーキンググループを立ち上げ、支所出張所のあり方を検討しているとのことですが、住民が安心して暮らせる住みよいまちであり続けるために、これ以上の職員数の削減は絶対に行わないよう改めて強く要望します。</p>